

平成26年度(平成25年度決算)事業評価シート(半田市議会)

委員会名 建設産業委員会

基本施策 (半田市の目指す将来の姿)	住宅・住環境整備 (住宅の耐震改修が進むとともに危険建物が少なくなり、予想される大地震への不安が軽減されています。高齢者向けなどの市営住宅の改修が進み、安心して暮らし続けることができます。バリアフリー化されたまちづくりが進み、だれもが暮らしやすいまちになっています。)	部課等名	建設部建築課	評価表 整理No.	24-007
事務事業名	老朽化建築物取壊事業				

1 項目別評価 ※評価欄の該当項目に○印を付け、判断理由・評価コメント欄に必ず記入してください。

評価項目	評価基準	評価点	判断理由・評価コメント
有効性 (基本施策に適合しているか)	①きわめて有効性が高い(85~100点)		○市民の安心安全のためには有効性は高い。 ○危険な建物を限定をする必要がある。
	②有効性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば有効性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば有効性が低い(37~52点)		
	⑤有効性が低い(21~36点)		
	⑥有効性がない(0~20点)		
効率性 (より効果的な改善が可能か)	①きわめて改善の必要がない(85~100点)		○危険な建物がある場合は、通学路を変えようという方法もある。
	②改善の余地は少ない(69~84点)		
	③どちらかといえば改善の余地は低い(53~68点)		
	④どちらかといえば改善の余地は高い(37~52点)		
	⑤改善の余地は多い(21~36点)	○	
	⑥改善の必要がある(0~20点)		
妥当性 (市が行わなければならないか)	①きわめて妥当性が高い(85~100点)		○市民同士で解決できることではなく、市がやるべき。
	②妥当性が高い(69~84点)	○	
	③どちらかといえば妥当性が高い(53~68点)		
	④どちらかといえば妥当性が低い(37~52点)		
	⑤妥当性が低い(21~36点)		
	⑥妥当性がない(0~20点)		

※改善及び提案内容は抽象的な表現は避け、具体的に数値等を用いて表現し、箇条書きにて記入してください。

事業改善と予算提案について	
事業改善	<p>○対象となる老朽化建築物の定義づけ必要。(危険と古いは違う。)</p> <p>○取り壊す場合は、転居先として市営住宅へ優先的に入居できるようにする。</p> <p>○老朽化建物とブロック塀事業は、区別する。</p> <p>○通学路に面した危険なブロック塀は市の指導が必要。</p> <p>○危険なブロック塀箇所がある通学路は、見直しをするなど各学校で再検討すると同時に危険箇所を早急に対応する。</p>
予算提案	<p>○固定資産税の対策必要。(更地にしても値上がりしない、取り壊さないと値上がりするなど。)</p> <p>○本人の費用負担が大きいため、長期・無利子融資等貸付優遇制度を作ると良い。</p> <p>○空家となり、定期的な管理がされるよう対策を講じ、予算措置すること。</p>
少数意見	